坂町マスコットキャラクター
坂　うめじろう

おすすめの絵本 22号

令和７年１月

坂町立図書館　TEL082-886-3280

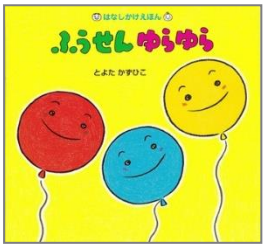
【おはなし会】
第３木曜日(くれよん) 10：30～11：00
第４木曜日(にこにこ) 10：30～11：00
＊日時の変更がある場合がありますので、詳しくは広報にて確認をお願いします。

０歳から３歳くらいまで

『ちょう にっこり』
あきやまかぜさぶろう/え
アキヤマヒカル/ぶん

白泉社

くだものたちは、熟してにっこり！
あおむしは、蝶になってひらひら！
色とアイテムをうまく変化させ、笑顔に反応する脳細胞を程よく刺激して育てる、発達研究から生まれた絵本です。



『ふうせんゆらゆら』
とよたかずひこ/作

アリス館

ねこさん、赤ちゃん、いぬさんが、風船をもっています。その手をパッとひらいたら、どうなるかな？みんなで「ぱっ」。ほーら、風船、とんでっちゃった・・・。
絵を見ながら、いっぱい話しかけてほしい、赤ちゃん絵本です。

かつては自分達も子どもだったことを思い出して
お母さん、お父さんに読んでもらいたい絵本

『だがし屋のおっちゃんは
おばちゃんなのか？』
多屋光孫/作

汐文社

だがし屋のおっちゃんは筋肉ムキムキで、大きな声で笑い、いつも下品。ある日「はるこ」と呼ばれる様子を目撃した僕は、まきちゃんと相談して、店に真相を確かめに行くと…。

『わたしは ここが きにいっています』
あまのかんな/作

リーブル出版

大きな木の下に住む石ころのごろんくん。ある日、友達から遊びに誘われました。でもごろんくんは心配性なので新しいことにチャレンジするのが苦手。誘いも断りますが、いざ、やってみると…。

４歳から６歳くらいまで

『むれ』
ひろたあきら/作

KADOKAWA

シンプルなテキストに、びっしり書き込まれた“むれ”。子どもたちは夢中になって“むれ”の仲間はずれを探します。ひつじのむれ、さかなのむれ…。だんだん変わった“むれ”が登場します。ひと味違った探し絵遊びができる絵本です。

『ぬ～くぬく』
飯野和好/さく
山本孝/え

農文協

ここは、とある小さなお寺の境内。おしょうさんが気持ちを込めて作った干し大根と干しいもが、日向ぼっこをしながら、ぬ～くぬくばなし。そこへ、おしょうさんと娘のちかちゃんが帰ってきて…。
方言や言い回しが楽しい絵本です。

『おうさまの
ぼうえんきょう』
おかだしんご/さく
もりしまさとこ/絵

三恵社

ある小さな国にお城から出たことのない王さまがいました。「お城の外はきたなくて、危険です」という家来たちのことを信じていたので、外に出たいと思ったことはありません。そんな王さまのたん生日パーティーに、望遠鏡を持ったまほうつかいがやってきて・・・。

『ゆきのはな』
たちもとみちこ
/作・絵

PHP 研究所

ふわりふわり、雪の妖精たちが舞い降りてきました。動物たち、子どもたちは雪だるまを作って、雪の妖精たちと仲良く遊びます。
独特な画風と色彩で冬の世界を描いた絵本です。

『おかしなゆき
ふしぎなこおり』
片平孝/写真・文

ポプラ社

雪が降ったら、外へ出かけてみよう。
あっちにもこっちにも、雪や氷のおかしな形が見えるはず。
冷たい空気と水が作る、大迫力の雪と氷の世界を写真で紹介した冬の絵本です。